



これ以上、 いのちを削らせない。

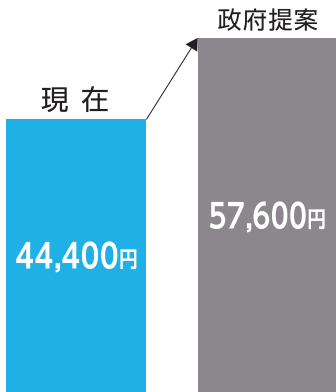
全ての世代に、負担増と給付の削減。

高齢者の患者負担 上限の引き上げ

〈2017年度から実施をめざす〉

高齢者(70歳以上)の入院と
外来(世帯合算)した場合の
窓口負担上限額(月額)

※一般所得(～年収約370万円)



子ども医療費助成への 国の罰則見直し ただし、未就学児に限定

現在、子ども医療費の窓口無料を行う自治体に対し、国が補助金を減額する罰則があります。自治体の反対をうけ、未就学児に限り罰則の廃止の方向。しかし、みんなの願いは国の責任で中学卒業まで、すべての子どもの医療費無料化です。



市販品類似薬の 保険外し

〈引き続き検討〉

すでに湿布の1処方あたりの枚数制限が実施されています。今後湿布やうがい薬、痛み止めなどを保険から外すことが検討されています。



要介護1、2の デイサービスなどは、 将来「総合事業」へ

要介護1、2のデイサービスなどを市町村の「総合事業」に移す方針です。これにより、利用回数が減らされたり、ボランティアに置き換えられることになります。



「負担増」「給付削減」はSTOP!
安全・安心の医療・介護の実現を求める署名にご協力をお願いします。

取扱団体

国の責任で お金の心配なく だれもが必要な医療・介護を 受けられるように

負担増、給付抑制を国民に強いる医療・介護改悪の中止を求める緊急署名

衆議院議長 様
参議院議長 様

｜ 請 ｜ 願 ｜ 趣 ｜ 旨 ｜

憲法で保障された社会保障は国の責任で実施すべきです。国の責任で、いつでも、どこでも、誰もが
お金の心配なく必要な医療や介護、社会保障を受けられるようにしてください。

「国保料が高過ぎて払えない」「窓口負担が高くて病院にかかれない」「利用料負担が高くて介護サー
ビスを減らした」「ひとり暮らしが大変。でも特養に入りたくても入れない」など、地域では必要な医療
や介護が受けられずに困り、医療や介護など社会保障の充実を求める声が増え、高まっています。

その一方で声をあげることもできず孤立死や介護殺人に至るなど、痛ましい事件も後を絶ちません。
この上、患者・利用者負担増、医療保険や介護保険給付をせざる「制度改正」が行われると、いっそうの
患者・利用者、家族への深刻な困難を引き起こします。

憲法25条に保障された社会福祉、社会保障の実現をめざし、国の責任で医療や介護を充実するよう、
下記項目を請願いたします。

｜ 請 ｜ 願 ｜ 事 ｜ 項 ｜

- 1 保険料や自己負担を増やす計画をやめて国庫負担を増額し、医療・介護の保険料と自己負担
を引き下げてください。
- 2 公的保険の給付やサービスを削減せず、すべての人に安全・安心の医療・介護を保障してくだ
さい。
- 3 どこでも必要な医療や介護・福祉が受けられるように、入院・入所を制限せず、病院や介護・福
祉施設を確保してください。
- 4 医師・看護師・介護職員を増やして、医療・介護現場の労働条件の改善を図ってください。

| 氏 名 | 住 所 |
|-----|-----|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

※この個人情報は請願以外には使用しません